

令和5年の活動の様子をお知らせします

清流だより

第18号

令和6年3月20日発行

もっと もっと
南木曽を元気に!

日々の活動の様子は
「向井ひろあきブログ」
「町 HP 町長の部屋」で
発信中 ⇨



【討議資料】

発行責任者: 向井ひろあき後援会 木村左右和
連絡先: 南木曽町読書2740の2 電話 0264(57)2475



大学時代同じ寮生活を送った
全日空(ANA)の外山専務を会社訪問



後藤茂之地元選出国會議員に
陳情の折に



宮下一郎農林水産大臣(当時)
と面談の折に



青山中津川市長(当時)吉村議会議長と
阿部知事を訪問した際



木曽三川流域自治体サミットで
中野正康一宮市長(左)
河村たかし名古屋市長(中央)と



中津川・木曽下伊那SDGs協議会の立ち上げで



橋本聖子参議院議員
(元東京五輪組織委員会会長)
と懇談の折



小栗仁志中津川新市長と懇談の折に



佐藤飯田市長と
国交省道路局長へ要望活動



大畑俊隆県議と長野県教育長に要望



財務省で陳情の様子



松塩筑木曽老人福祉施設組合
管理者の百瀬塩尻市長と
あすなる荘で現地視察しながら



消防団夜警巡視



能登半島地震支援のための
職員派遣出発式



令和5年度町表彰式



岩倉村おとし組合総会で



出初式の分列行進



だいどうの森(天白町有林)整備作業で



町少年野球大会始球式(打者)



三留野分館体育行事に参加して



長野県茶の共進会で上位入賞した
町内生産者の皆さんと



小学校の防災学習で
かまどベンチの製作を見学



文化文政風俗絵巻之行列
(右は佐藤長久手市長)

《裏面もご覧ください》



子育て教育への支援・元気な地域産業・定住環境の整備など もっともっと必要なとりくみを!

日頃は後援会活動に皆様の厚いご支援を賜り感謝申し上げます。

コロナ禍の局面が大きく変わった途端に、混とんとした世界情勢に加え日常の物価高・労働力不足などに見舞われています。町においても物価高騰対策はもちろんのこと、少子化・高齢化によるひずみが至る所に出始めた中で早急な対処が求められています。

これまでも皆様の声に耳を傾けながら取り組みが行われてきていますが、まだまだ不十分な面もあります。課題解決に向けてみんなで力を合わせながら「もっと もっと南木曾が元気に」なるよう努めていきたいと思ひます。皆様の変わらぬご理解ご協力をお願いいたします。

令和6年春 向井ひろあき後援会



(議会の様子から)

もっともっと やります!



さらなる子育て・教育支援を! 町に住むための環境整備を!

◎若い人や子育て支援・教育支援の継続強化、定住を見据えた整備を

- ◆町に住む若者や子育て世代の負担軽減、子ども達の居場所づくりなど各種支援制度の継続拡充
(例えば)入園入学のお祝い制度の拡充、給食費公的負担の増額、小学校に標準カバンを導入し希望者に支給、学校に通いづらい子ども達の受け入れる仕組みづくり、町が全面支援する南木曾ならではの放課後子ども教室の充実、ふるさと教育・やま保育・木育の推進・親子ふれあい公園の推進など

- ◆定住につながる住む環境、働く環境、通う環境の整備
(例えば)ミニ宅造(田立地区)の早期建設、町営単身住宅の整備、空き家を活用した借上住宅やコワーキングスペースの整備、リニア車両基地による通勤圏拡大と開業効果を活かせるよう19号雨量規制解除と右岸道路の延伸・整備促進など

「住んで良かった」と
思える町をめざして

もっともっと 必要です!



地域経済の活性化、人づくり・コミュニティを!

◎地域経済と地域産業、農林業の活性化につながる後継者確保・事業承継や起業の支援、ふるさと納税の活用、人づくり

- ◆地域産業や人材確保への支援、日本遺産・インバウンドのチャンスを活かした取り組みを
(例えば)木曾路を南から北まで通して歩けるルート作りでスローツーリズム・SDGsによる誘客 など

◎人材確保で豊かな未来を

- ◆子ども達が将来戻って来て住みたいと思えるように「ふるさと学習・体験」の機会を増やします。
(例えば)子ども達の意見やアイデアを具体的に町政に活かせる機会を作り郷土愛を養っていきます など

「暮らして良かった」と
元気あふれる町をめざして

もっともっと 安心と安全を!



安心につながる医療・福祉を! より災害に負けない安全な町を!

◎地元医療・福祉機関との連携・確保を

- ◆町内の医院と歯科医院を守り、坂下診療所・木曾あすなろ荘の維持充実に向けて連携を
(例えば)地元医師との連携で町内医院と歯科医院を守り、健診率向上による早期発見早期治療で健康長寿の町を
坂下診療所で検討が進められている民間医療法人(入院機能の確保、訪問診療の実施などを計画)の開設に町としての協力や、木曾あすなろ荘支援に向けた具体的な取り組みを、社協など町内関係団体と連携協力しながら地域福祉の維持充実を など

- ◆砂防、治山、治水、防災など地域の国土強靱化、ICT・DXの活用
(例えば)ICT、ケーブルテレビによる防災情報、消防団員の処遇改善(手当増額)、ペーパーレス会議、CATV回覧板など

「住むなら南木曾」
といえる
安心できる町に

【後記】 新年早々の大災害や事故に心を痛めた方も多いかと思ひます。各種募金活動や町でも職員派遣などの支援を行っていますが、私達も応援できる機会に出来ることをと思ひます。コロナ禍で人との繋がりが薄れがちになったと言われる中で、いざと言う時は「遠くの親戚より近くの他人」が大切になる事もあるかと思ひます。災害に限らず、町づくりも同じ町に住む者同士で力を合わせていくことが大切です。「もっともっと南木曾を元気に」するために後援会も活動を進めていきます。皆様のご健勝をお祈りすると共に引き続きのご支援をお願い致します。(事務局)

*後援会加入希望は、お近くの役員又は事務局まで。